



令和6年（2024年）11月7日

社会福祉法人清流

さつきの家

施設長 小川裕子

「さつきの家」だより

11月です！3日（日）に社会福祉法人清流20周年記念「つちくれ祭り」が、盛大に開催されました。「つちくれの家」お隣の東プレの広々とした駐車場で、これまで清流に関わってくださった多くの方々の温かさにすっぽりと包まれた心がポカポカ柔らかくなるお祭りでした。どの人も笑顔がとってもきれいでした。

～「地域といっしょに20年、感謝・感激！エイエイ、オー！」～

つちくれの仲間が相談して決めたこのスローガン。素直なことばです。自分たちを見守り続けて下さった地域の皆様への「ありがとう」の気持ちがしっかりと伝わってきます。

準備のための土曜日は、大雨でした。「つちくれ」の横の根の谷川は、溢れんばかりの濁流で、正直恐ろしかったです。それでも、仲間たちが全体リハーサルを開始した午後、光が射しはじめ、（あー、この人たちは大きな力に守られている♡）嬉しかったです。

「さつきの家」のメンバーも遠くから、みんなで駆け付けました。いつもよりも早い時刻での自主集合で、みなさん大変だったことでしょう。ご協力ありがとうございました。

ステキなステージが用意されていて、ビックリしました。見られる自分たちをしっかりと感じて、それまで積み重ねてきたことを10分枠の中で、表現できたと思います。仲間も職員も笑顔で手足もしっかりと伸びていて。本当によく頑張ったな、毎日が凝縮されているな、とあなたたちの頑張りが誇らしかったです。みんながみんな英雄ですね。

私は、「可部つちくれの家」の仲間たちの成長も嬉しかったです。太鼓部・神楽部・スポーツ部・広報部。仲間が他者を想い、助け、共に演じていました。人はいつまでも発達していくことを彼らの姿から学ばせてもらい、胸が熱くなりました。自治会メンバーの司会、実行委員会が中心になった運営、伴奏、販売。どこを見ても主体的に祭りを作っている仲間が、カッコよかったです。20年の歴史を作ってこられた先輩たちの姿にも感動しました。外部の舞台出演には地域の協力の姿が見られ、その演奏に心奪われたさつきとつちくれの仲間が、共に踊っている姿に、人として大事にしたいことが溢れていました。ありがとう。躍動的な神楽「悪狐伝」も広島伝統！素晴らしかったです。保護者のみなさんも、さつき・つちくれの枠を越えて交流できた事でしょう。さあ、これからも、法人清流としてひとつになって、可愛い仲間たちのために、力を合わせて進んでいきましょう。エイエイ、オーッ！

<おねがい>

○ 冬の「きょうされん販売」が、始まりました。注文ありがとうございます。

締め切りは11月20日（水）です。

短冊カレンダー1200円 300本（さつき担当分）

卓上カレンダー1000円 200個（さつきのみ販売）

2025年度ダイアリー1000円 限定100冊

※在庫はなるべく作りたくないの、ぜひご協力よろしくお願いします。

米ホーム工房のお菓子セットは、保護者と職員のみ限定販売40個です。

◎ 着替えの補充をよろしくお願いします。

（急に寒くなっているの、冬物も入れておいてくださいね。）

◎インフルエンザの予防接種を受けた時は、お知らせください。

※「さつきの家だより」は、地域みなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信していきます。ご意見等聞かせていただけると幸いです。

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）

082-942-4779（FAX）

satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）